

平成 1 9 年 3 月期 決算説明会

- 1 連結業績の概要
- 2 連結業績の詳細
- 3 平成 2 0 年 3 月期 業績予想
- 4 中期経営計画への取り組み
- 5 その他の情報

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動などのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

1 連結業績の概要

連結業績概要 前年同期比

GLORY

連結業績の概要

売上高 金融機関市場、海外市場が牽引し、順調に推移。

利益 売上高の増加、並びに原価率、販管費率の低減により利益率が改善。

(百万円)	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比	平成19年3月期予想 (平成18年8月7日修正)
売上高	141,231	164,539	+16.5%	160,000
営業利益	5,453	12,960	+137.7%	11,000
経常利益	6,132	13,406	+118.6%	11,200
当期純利益	740	6,461	+773.1%	7,000

パチンコホールのリース料などの債務や米国での訴訟和解金などを特別損失に計上

2 連結業績の詳細

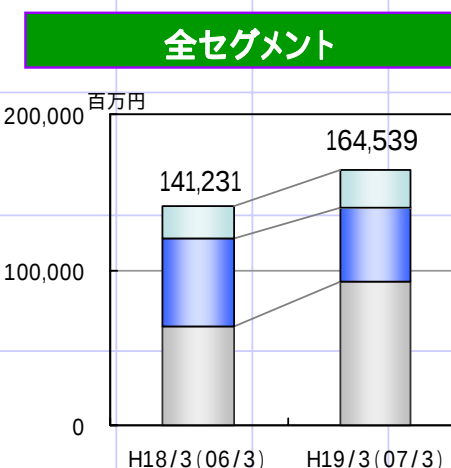
セグメント・市場別売上高

GLORY

(百万円)

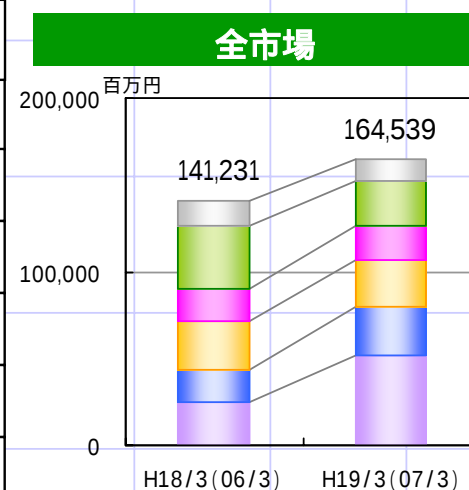
連結業績の詳細

セグメント	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
貨幣処理機 及び貨幣端末機	63,567	92,829	+46.0%
自動販売機 及び自動サービス機器	57,052	47,535	16.7%
その他の商品 及び製品	20,610	24,174	+17.3%



(百万円)

市場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
金融機関	24,598	51,826	+110.7%
海外	19,148	28,476	+48.7%
流通・交通	27,818	26,557	4.5%
自動販売機	18,730	19,388	+3.5%
遊技	35,986	26,202	27.2%
一般	14,951	12,090	19.1%

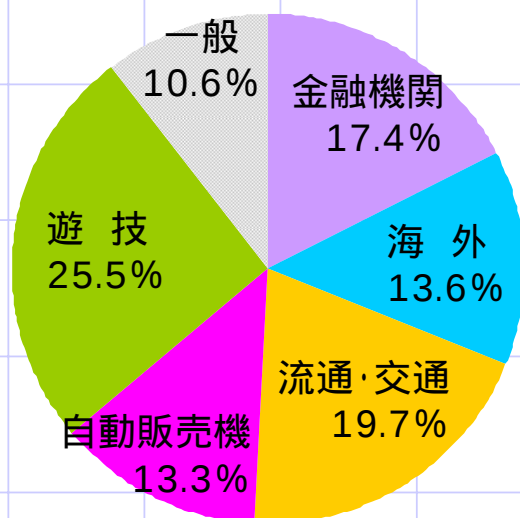


市場別売上高構成

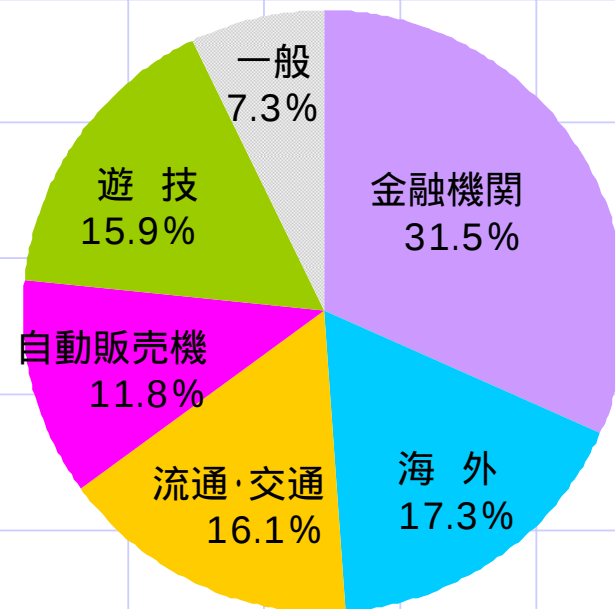
GLORY

連結業績の詳細

平成18年3月期



平成19年3月期



(百万円)

平成18年3月期
(2006年3月期)

平成19年3月期
(2007年3月期)

前年同期比

売上高

141,231

164,539

+16.5%

金融機関市場

GLORY

連結業績の詳細

● 基幹商品の需要が拡大

- ・金融機関の業績向上と併せて、現金取扱い業務の人的ミス削減に関する設備投資意欲が向上。
- ・郵政民営化に伴う機械化促進と内部統制強化による需要拡大。

【前年同期比】110.7%増

業績に影響した主な製品

↑ オープン出納システム「WAVEシリーズ」

↑ 窓口用現金入出金機「RBシリーズ」

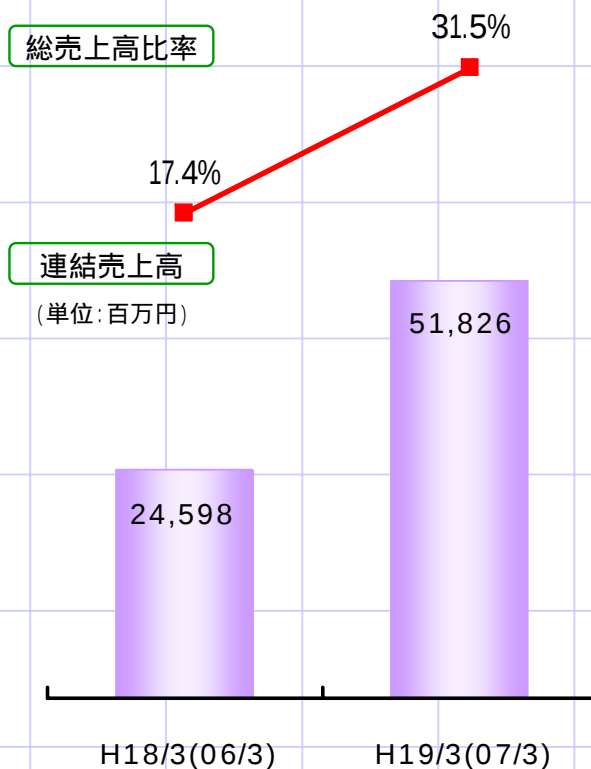


オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用現金入出金機
RBシリーズ

市場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
金融機関	24,598	51,826	+110.7%



海外市場

GLORY

連結業績の詳細

● 欧州でシステム製品の需要が拡大

欧州でのユーロ通貨に関する偽札対応や省力化ニーズの高まりから、ATMの需要やシステム商品の需要が拡大。

【前年同期比】48.7%増

業績に影響した主な製品

↑ 窓口用紙幣入出金機「RBUシリーズ／RZシリーズ」

↑ ATM用紙幣入金ユニット「UDシリーズ」



紙幣入出金機
RBUシリーズ



紙幣入出金機
RZシリーズ



ATM用紙幣入金ユニット
UDシリーズ

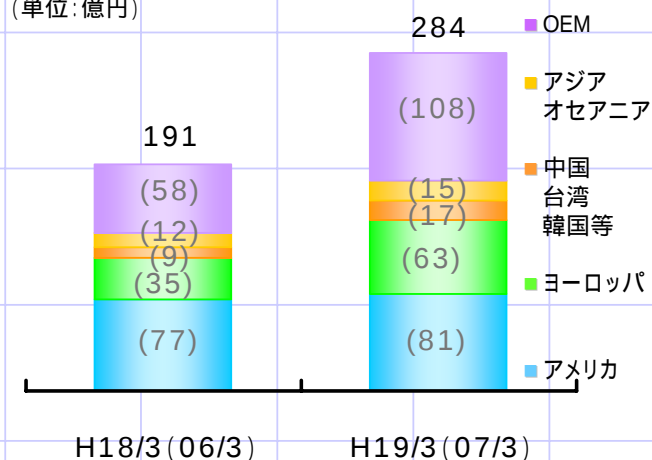
市場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
海外	19,148	28,476	+48.7%

総売上高比率



連結売上高

(単位: 億円)



流通・交通市場

GLORY

連結業績の詳細

● レジつり銭機が堅調

従業員のパート・アルバイト化、営業時間の延長により、レジ周辺機器の需要は拡大。また、入金機も堅調に推移したが、その他の商品が低調。

【前年同期比】4.5%減

業績に影響した主な製品

↑ レジつり銭機「RT・RADシリーズ」



ドア付きレジつり銭機
RT・RADシリーズ



大手量販店向け
レジつり銭機
RT・RADシリーズ

市場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
流通・交通	27,818	26,557	4.5%

総売上高比率

19.7%

16.1%

連結売上高

(単位: 百万円)

27,818

26,557

H18/3(06/3)

H19/3(07/3)

自動販売機市場

GLORY

連結業績の詳細

● たばこ販売機の販売が微増

積極的な販売活動により成人識別機能付き
たばこ販売機の販売が堅調に推移。
平成18年10月よりスタートした改造作業も貢献。

【前年同期比】3.5%増

業績に影響した主な製品

↑ たばこ自動販売機



たばこ販売機
TNRシリーズ

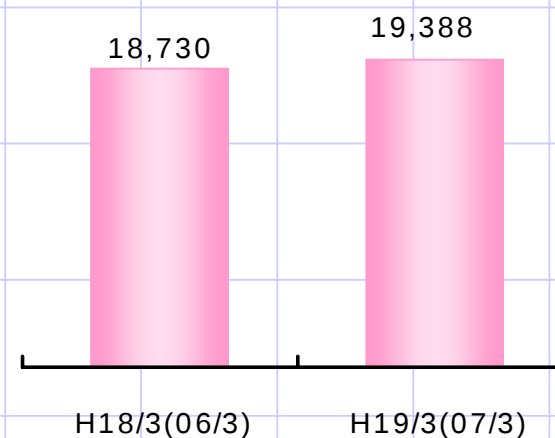
市 場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
自動販売機	18,730	19,388	+3.5%

総売上高比率



連結売上高

(単位: 百万円)



遊技市場

GLORY

連結業績の詳細

● 業界全体の低迷により投資が冷え込む

規制改正に伴いホールは遊技機器へ投資をシフト。
更にパチンコ人口の減少など、市場の縮小により
関連機器の需要が低調。
カード関連機器は堅調に推移。

【前年同期比】27.2%減

業績に影響した主な製品

↓ 台間紙幣メダル貸し機

↓ 紙幣両替機



台間メダル貸し機
JMM - 20/20A



高額紙幣両替機
ER - 120 - E

市 場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
遊 技	35,986	26,202	27.2%

総売上高比率

25.5%

15.9%

連結売上高

(単位: 百万円)

35,986

26,202

H18/3(06/3)

H19/3(07/3)

一般市場

GLORY

連結業績の詳細

● 選挙関連市場が順調に推移

新製品の発売などにより、統一地方選に関する需要を確実に取り込み、官公庁市場が順調に推移。

【官公庁市場 前年同期比】34.5%増

業績に影響した主な製品

↑ 自書式投票用紙分類機「GTSシリーズ」



自書式投票用紙分類機
GTSシリーズ

【統一地方選挙 GTS稼動状況】

- ・選挙実施日
平成19年4月8日・22日
- ・GTS稼動台数
延べ420台
(GTS-500×述べ120台)
- ・開票所数
述べ150ヶ所

市場	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	前年同期比
一般	14,951	12,090	19.1%

総売上高比率

10.6%

7.3%

連結売上高

(単位: 百万円)

14,951

12,090

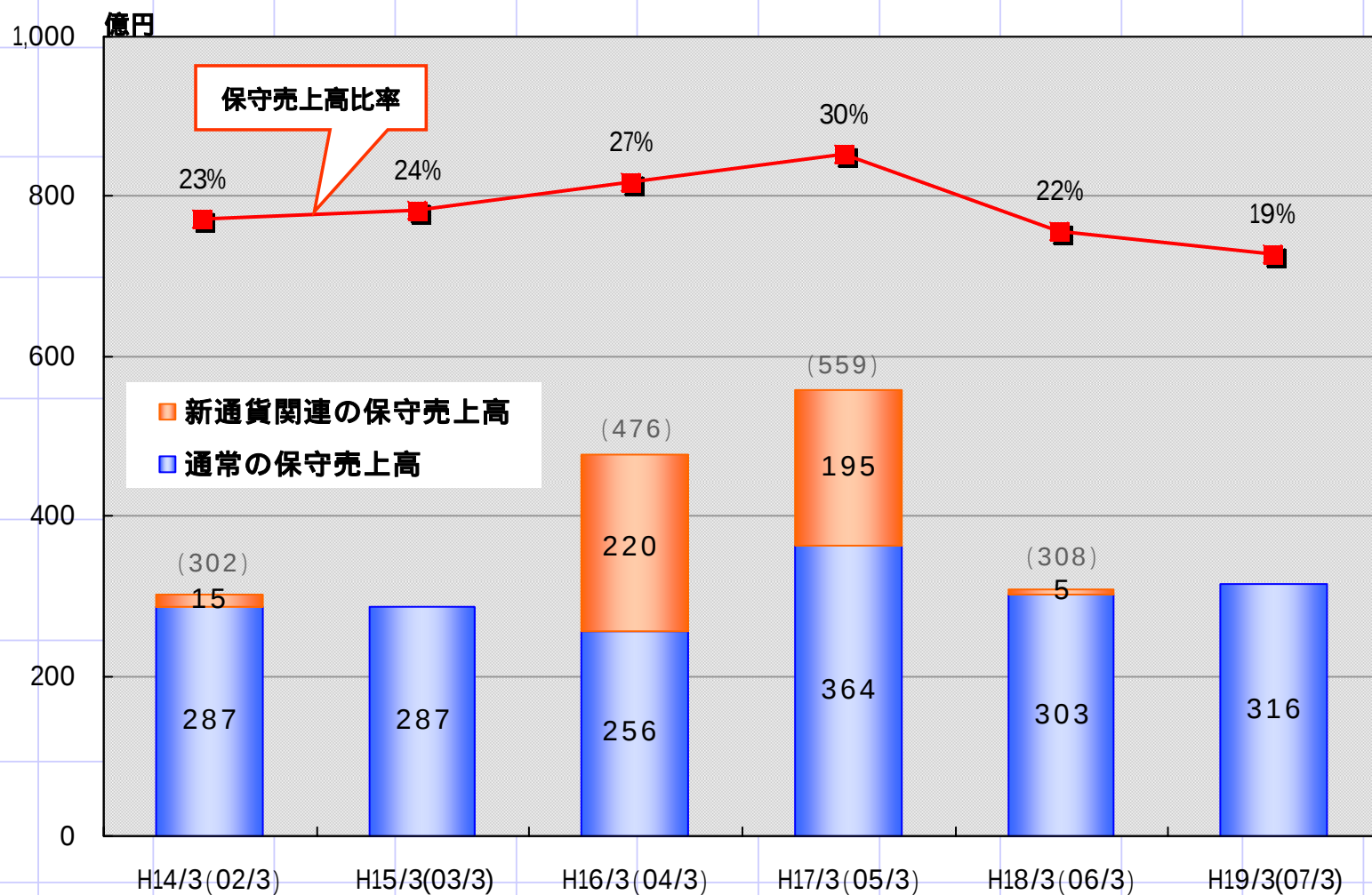
H18/3(06/3)

H19/3(07/3)

保守売上高

GLORY

連結業績の詳細



損益計算書

GLORY

連結業績の詳細

(単位:百万円)

(百万円)	平成18年3月期 (2006年3月期)	平成19年3月期 (2007年3月期)	増 減
売上高	141,231	164,539	23,308
売上原価	94,209	108,627	14,418
販管費	41,568	42,951	1,383
営業利益	5,453	12,960	7,506
営業外収益	1,450	1,719	268
営業外費用	771	1,272	500
経常利益	6,132	13,406	7,274
特別利益	91	173	82
特別損失	3,900	3,980	80
税引等調整前当期純利益	2,323	9,599	7,276
法人税等調整額	1,732	3,127	1,394
当期純利益	740	6,461	5,720

特別損失

1. 米国での特許訴訟の和解金(7.2億円)
2. 連結対象企業に入れた子会社の「のれん代」の一括償却
3. 固定資産除却損
4. パチンコホールの民事再生法申請によるリース解約損失引当金繰入額(回収懸念債権)

3 平成20年3月期 業績予想

平成20年3月期 業績予想

GLORY

平成20年3月期 業績予想

売上高 金融機関市場、自動販売機市場の需要拡大により前年同期から増加。

利益 研究開発投資額の増加や減価償却制度改正に伴う影響などから減少。

(百万円)	平成19年3月期 (2007年3月期)	平成20年3月期予想 (2008年3月期)	前年同期比
売上高	164,539	170,000	+ 3.3%
営業利益	12,960	12,000	7.4%
経常利益	13,406	12,000	10.5%
当期純利益	6,461	8,000	+23.8%

コスト構造改革などの事業構造改革の推進や業務の合理化、人材の有効活用など経営効率の向上を推進。

平成20年3月期 業績予想（市場別売上高）

GLORY

平成20年3月期 業績予想

(百万円)	平成19年3月期(2007年3月期)		平成20年3月期(2008年3月期)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比
金融機関	51,826	31.5%	55,500	32.6%	+ 7.1%
海 外	28,476	17.3%	28,500	16.8%	0%
流通交通	26,577	16.1%	26,000	15.3%	2.2%
自動販売機	19,388	11.8%	24,000	14.1%	+23.8%
遊 技	26,202	15.9%	24,000	14.1%	8.4%
一 般	12,090	7.3%	12,000	7.1%	0.7%
合 計	164,539	100.0%	170,000	100.0%	+ 3.3%

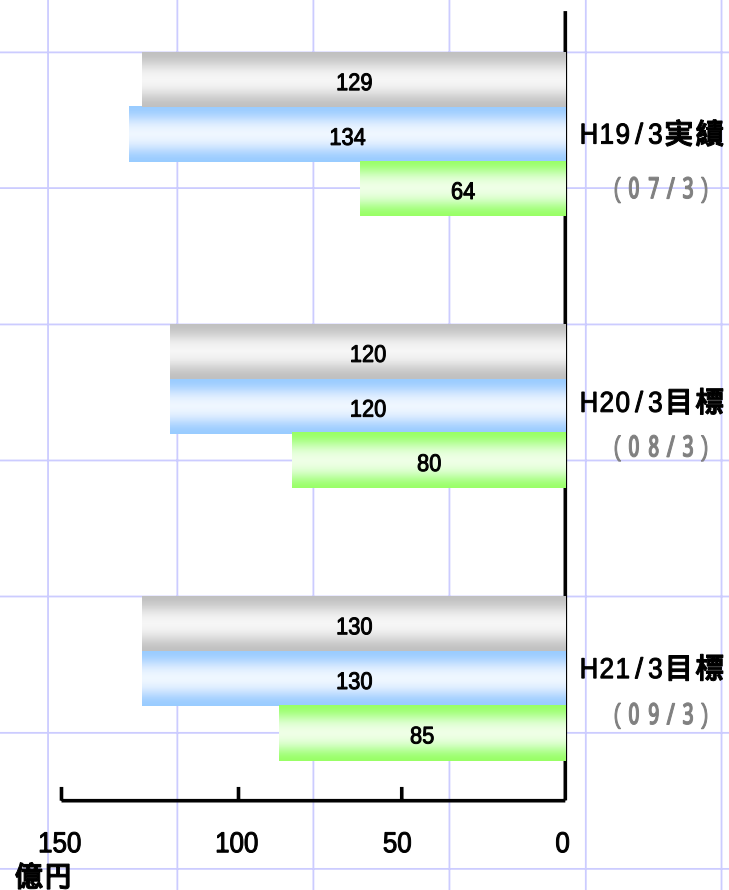
中期業績目標

GLORY

平成20年3月期 業績予想

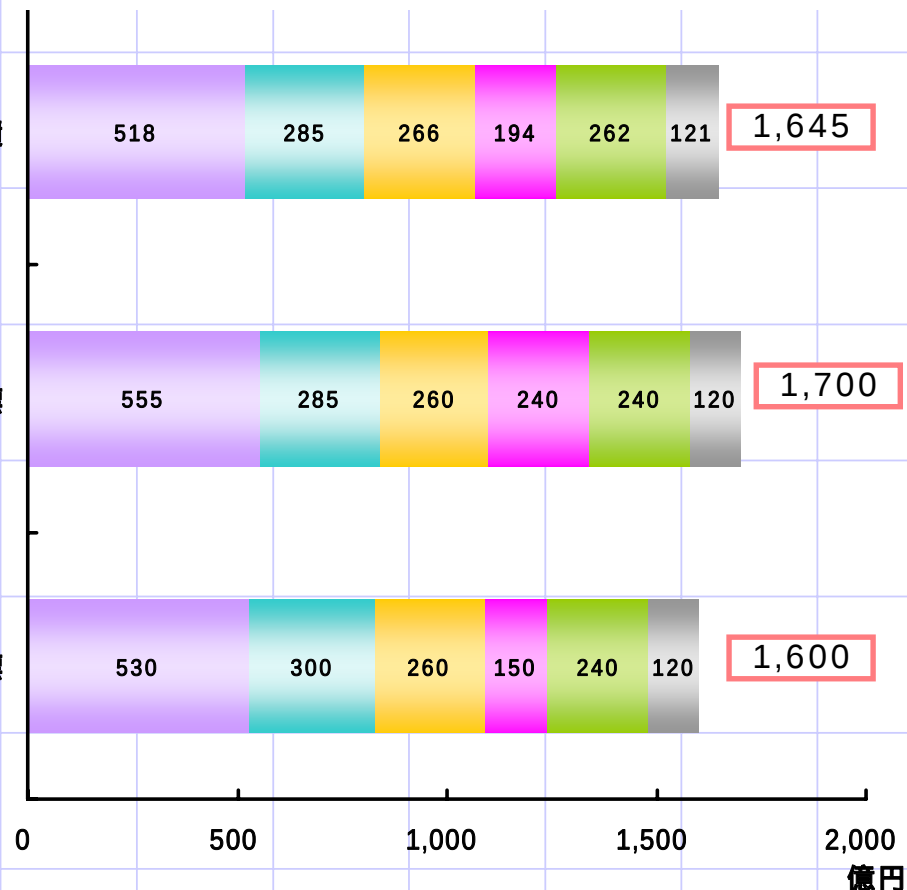
営業利益・経常利益

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



市場別売上高

■ 金融機関 ■ 海外 ■ 流通・交通 ■ 自動販売機 ■ 遊技 ■ 一般



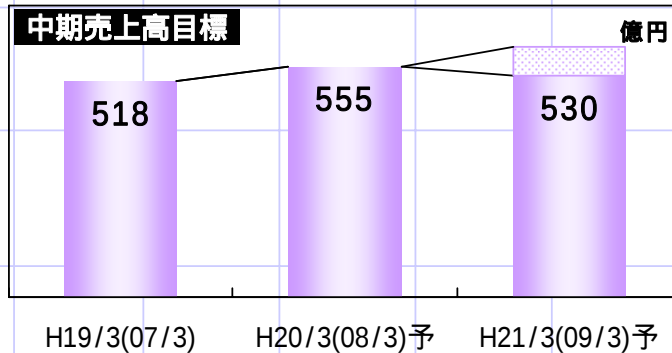
4 中期経営計画への取り組み

金融機関市場

GLORY

中期経営計画への取り組み

● ビジネスチャンスの拡大に伴うシェアアップ

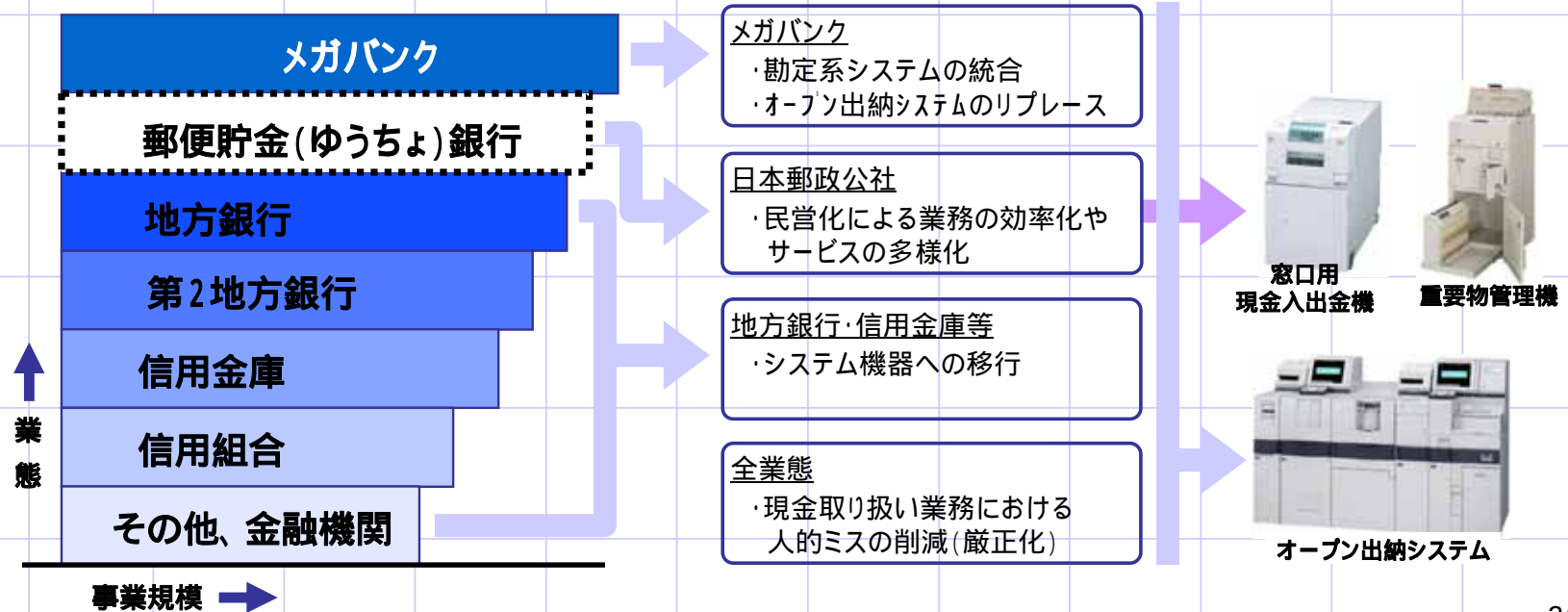


郵政市場への拡販

- 窓口用入出金機の拡販
- オープン出納システムの導入拡大

オープン出納システムの拡販

- シリーズラインナップの強化と高機能化

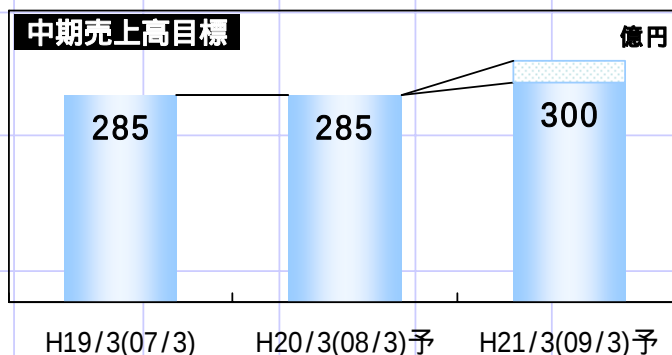


海外市場

GLORY

中期経営計画への取り組み

● 市場開拓と販売促進



欧州販売体制の強化

- 欧州市場における直販網の整備

ATMユニットの拡販

- 価格対応力の強化

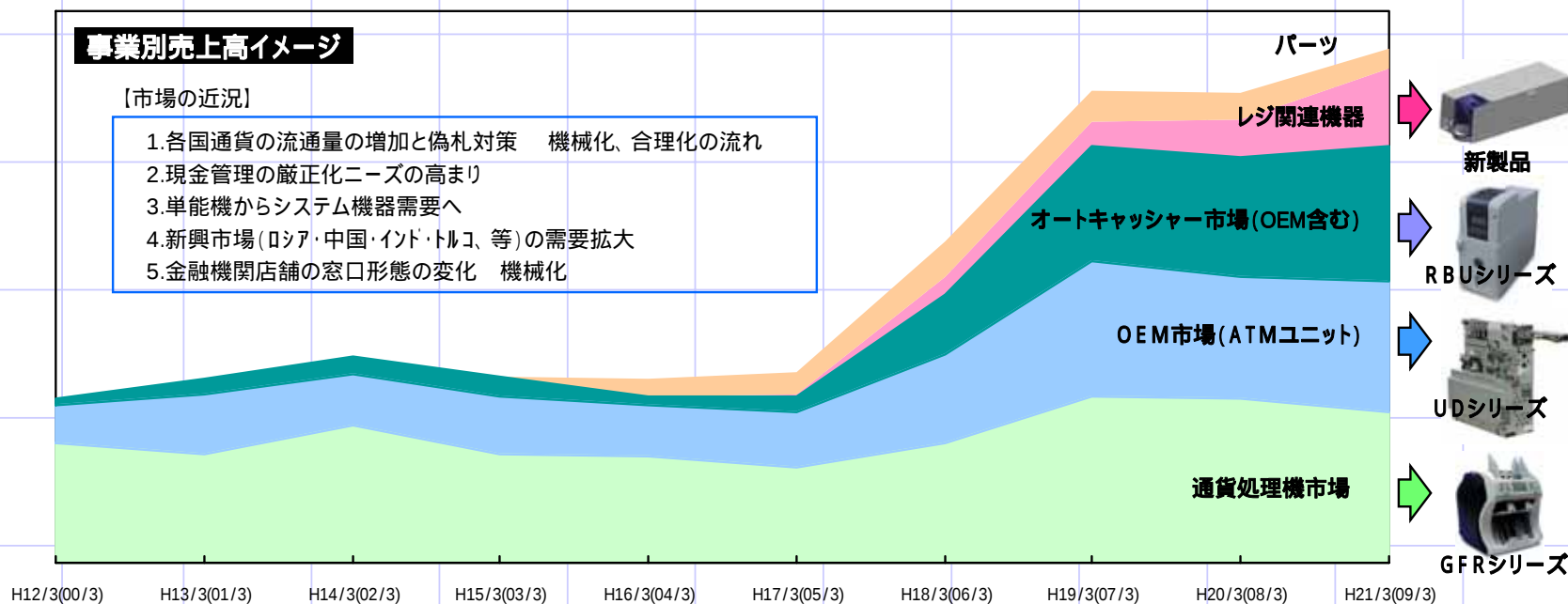
B R I C s 市場への拡販

- 商品ラインナップの強化

事業別売上高イメージ

【市場の近況】

1. 各国通貨の流通量の増加と偽札対策 機械化、合理化の流れ
2. 現金管理の厳正化ニーズの高まり
3. 単能機からシステム機器需要へ
4. 新興市場 (ロシア・中国・インド・トルコ、等) の需要拡大
5. 金融機関店舗の窓口形態の変化 機械化

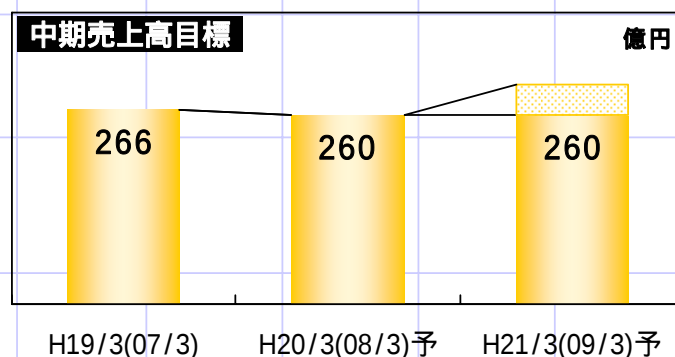


流通・交通市場

GLORY

中期経営計画への取り組み

● レジつり銭機市場・警送市場の拡販



フロント市場の拡販

- レジつり銭機の拡販
- 無人レジシステムへのユニット供給

警送市場の拡販

- 警送会社による現金回収ニーズの高まりへの対応

フロント市場 主要製品(自動つり銭機)

標準タイプ



・ショッピングセンター
・専門店
・飲食店等

高機能タイプ



・大手スーパー
・大手家電量販店等

OEM供給タイプ



POSレジメーカーに
セルフレジのユニット
供給

警送市場 主要製品(売上金入金機)

大型店向け



中大型店向け



中小型店向け



多い

入金量

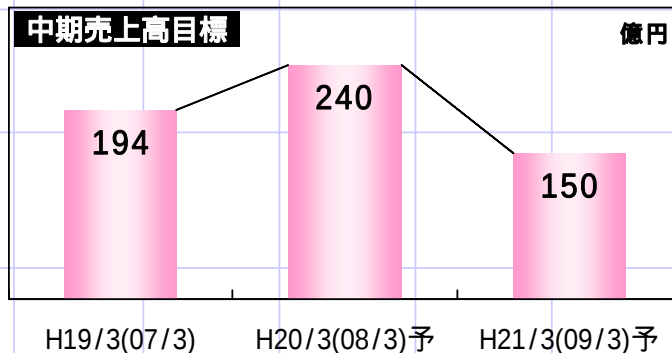
少ない

自動販売機市場

GLORY

中期経営計画への取り組み

● 成人識別機能搭載たばこ自動販売機の状況



成人識別機能搭載 たばこ販売機への対応

【参考】導入スケジュール

- ・2008年3月～ 宮崎、鹿児島で運用開始
- ・～2008年7月 全国へ展開
(2006年10月20日 日刊工業新聞より)

市場全体の予想対象台数

喫煙人口の減少，管理者から見える場所への販売機の設置などの規制，コンビニエンスストアでの売上増などにより、たばこ自動販売機は減少傾向。

[現在の市場稼働台数 約56万台]

● グローリーの予想対象台数【約15万台】

・平成18年10月より改造作業スタート

約3万台の改造作業が終了
(平成19年4月末時点)

成人識別機能付き たばこ販売機の需要(更新・改造)予測

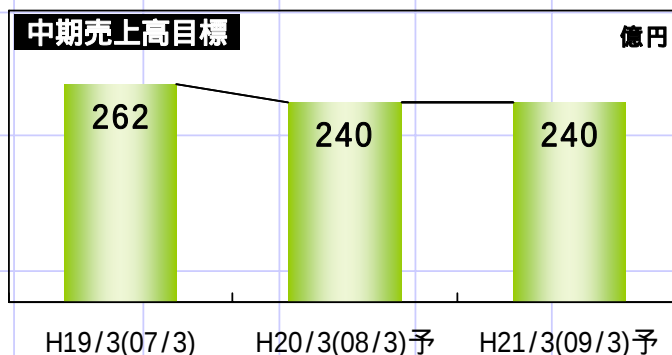


遊技市場

GLORY

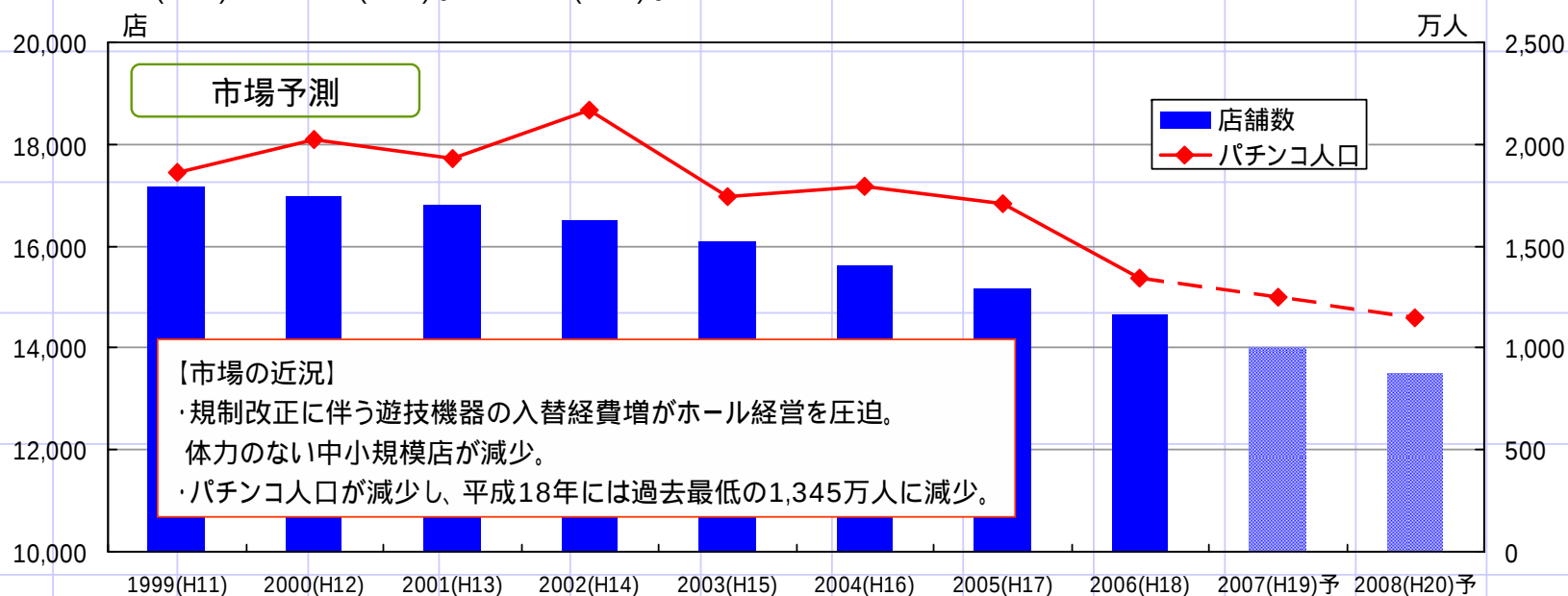
中期経営計画への取り組み

● カードシステム製品の拡販



ナスカカードシステムの
積極的な拡販

周辺機器の充実

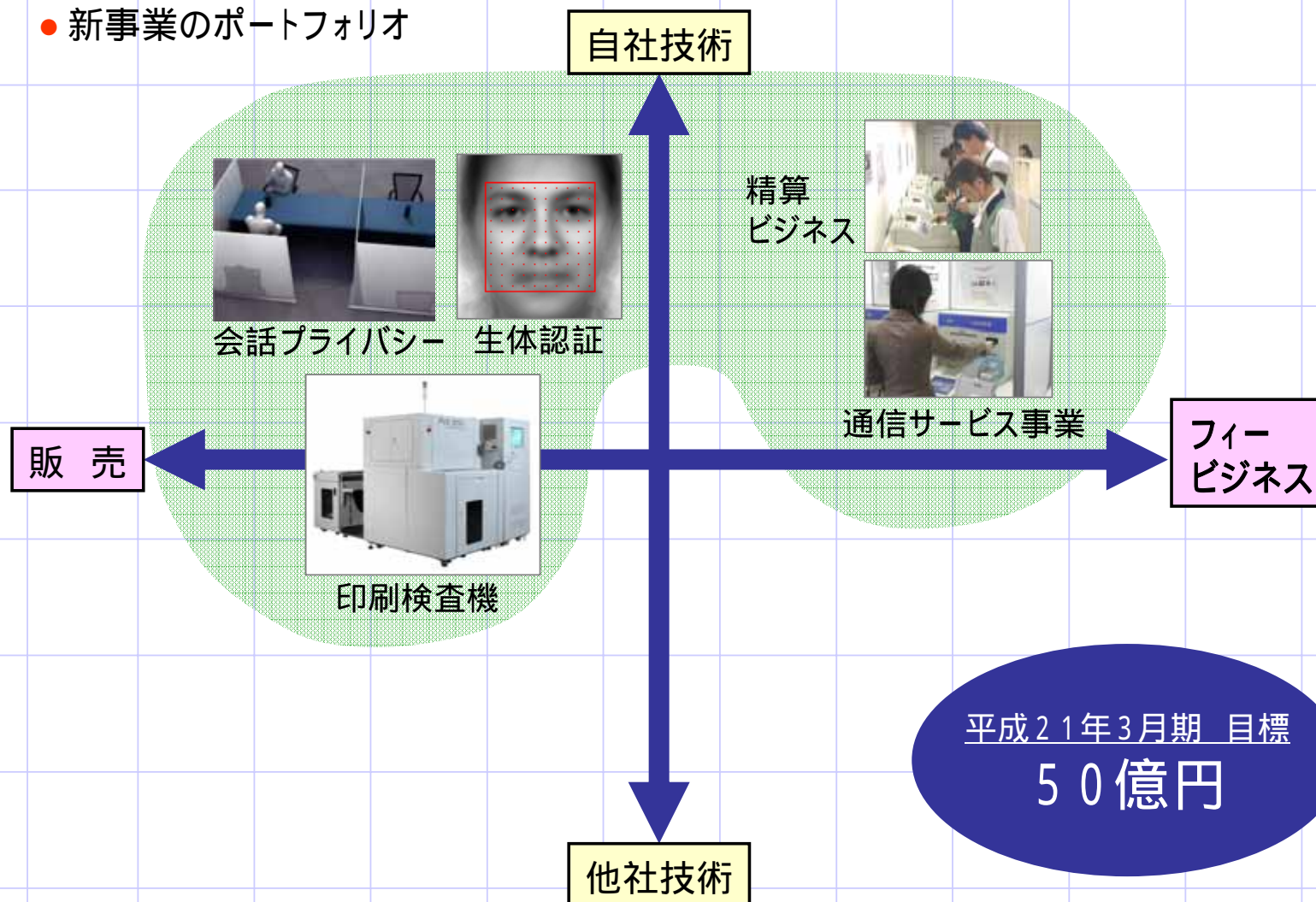


新事業

GLORY

中期経営計画への取り組み

● 新事業のポートフォリオ

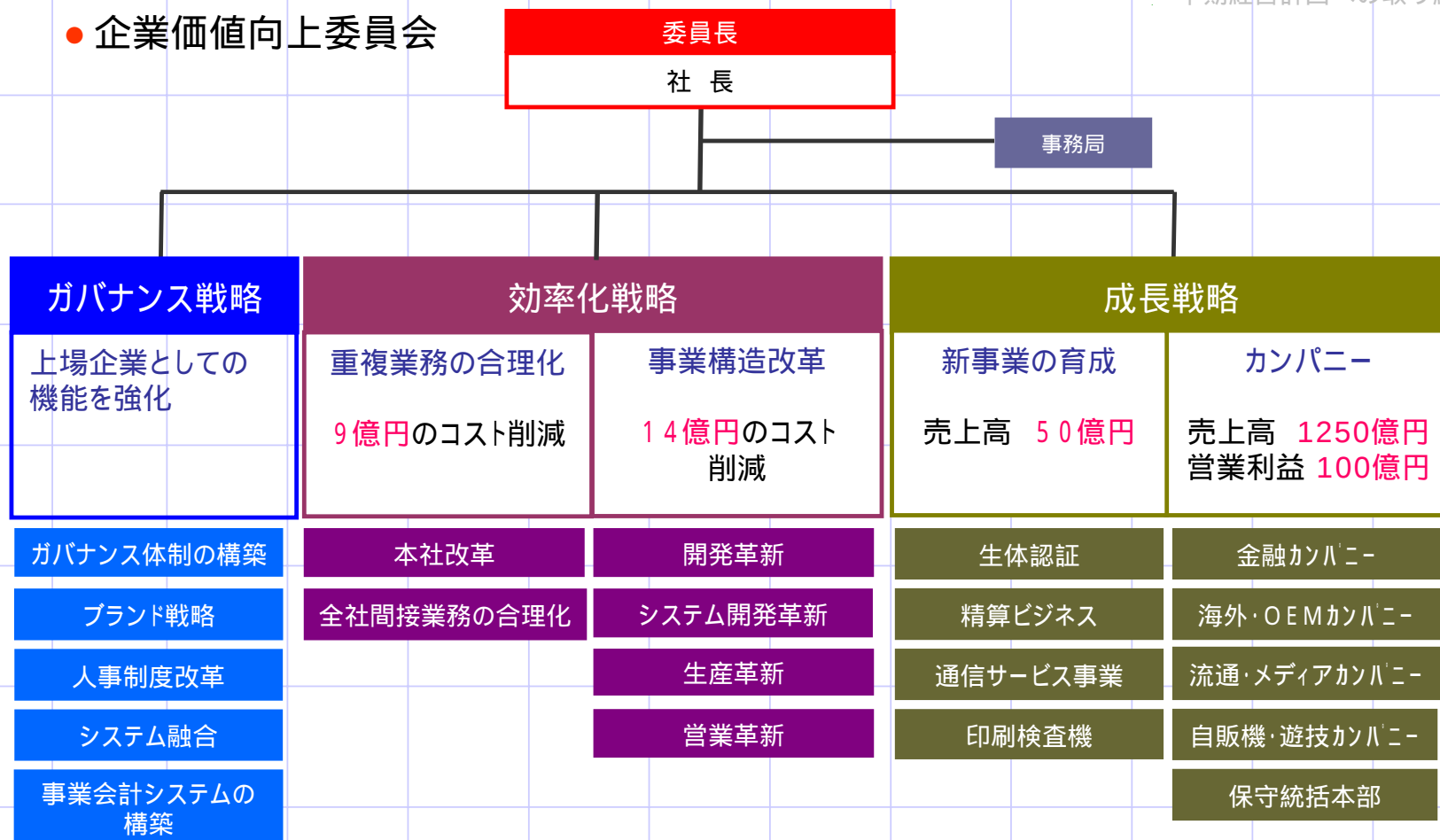


合併後の動き 1

GLORY

中期経営計画への取り組み

● 企業価値向上委員会



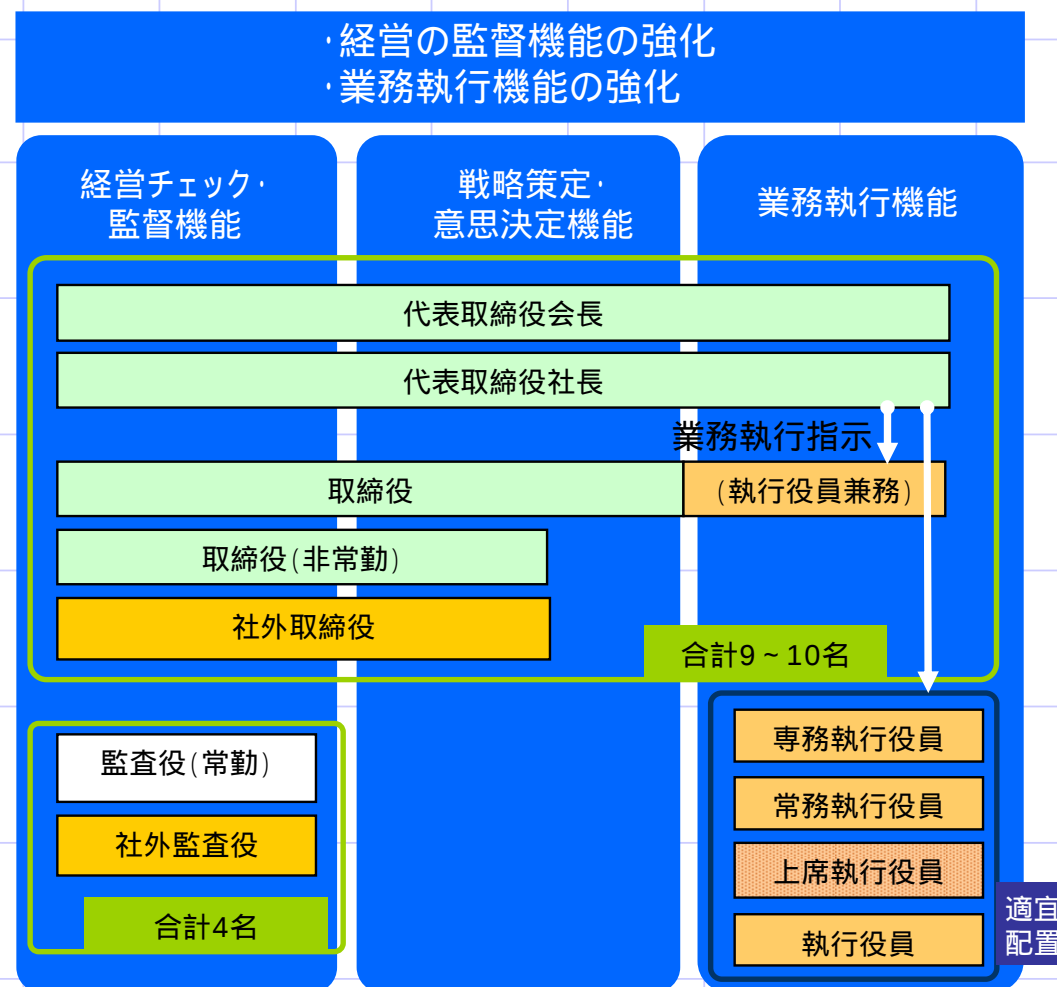
統合による企業価値向上の基盤を確立する
“合併効果の実現”

合併後の動き 2

GLORY

中期経営計画への取り組み

● 新役員体制及びガバナンス機能の分担



5 その他の情報

株主還元について 1

GLORY

その他の情報

● 平成19年3月期の配当予想修正について

配当方針

自己資本をベースとした安定配当に加え、
連結業績等の動向も勘案した利益還元

平成19年3月期の連結業績を勘案し、株主の皆様の日頃のご理解とご支援にお応えする

1株当たりの配当金

	中間期末	期 末	年 間
前回予想 平成18年11月16日	11円00銭	17円00銭	28円00銭
今回修正予想 平成19年4月26日	11円00銭	19円00銭	30円00銭
		普通配当 17円00銭 特別配当 2円00銭	普通配当 28円00銭 特別配当 2円00銭

株主還元について 2

GLORY

その他の情報

● 自己株式の取得について

・自己株式取得の理由	機動的な資本政策の遂行および株主還元策の一環として、消却を前提とした自己株式の取得を行う。
・取得する期間	平成19年5月18日～9月30日
・取得する株式の種類	当社普通株式
・取得する株式の総数	160万株を上限とする(発行済株式総数の2.16%)
・株式の取得価額の総額	40億円を上限とする
・買付け方法	信託方式による市場買付け

【平成19年5月17日現在の自己株式の保有状況】

・発行済株式総数(自己株式を含む)	74,236,210株
・自己株式	92,973株

資本政策について

GLORY

その他の情報

● 保有キャッシュの用途について

保有キャッシュの限度枠

・金融機関向け預金枠
・金融機関等の投資有価証券等の保有枠
(資本政策の資金枠含む)

約400億円

運転資金

約250億円

事業拡大のための資金

約100億円

グループ会社への貸付金

約50億円

合 計

約800億円

借入限度枠

金融機関からの借入枠

250億円